

経験者コース概要

これまでのコースで皆さんが彫ってこられたスレートの花は、"キーホール (Key Hole)"を裏面に取り付ける事によって、壁にかける事ができるようになります。このキーホールを今回のワークショップでは取り付けてみたいと思います。字を彫る作業はもちろん大切ですが、表には現れない、地味ですが重要な作業の1つであるキーホールを取り付けることを通して、鑿(チズル)の使い方、そして彫り方に馴染んでいただきます。また、これまでの石彫りの作業の進み具合も、授業の中で皆さんと再確認し、文字の装飾に必要なギルディングや色の塗り方のデモを再度お見せしますので、試してみる事も可能です。

経験者コースの目的

道具の使い方に慣れることと、地味な作業を通して、本人が作業工程の全責任を負っている事を自覚する。

経験者コースの内容

<工程 1> これまでの作業の進行程度を参加者全員で確認した後、それぞれの作業に進む。

<工程 2> キーホールを取り付けるための下準備 石にカバーをつける 石の裏に印をつける

<工程 3> キーホールの取り付け位置の確認と取り付け作業

<工程 4> キーホール取り付け作業を継続

4日間コースの場合には、上記工程を順次進めていきますが、2日間の参加の場合には、この工程に沿って、キーホールの取付け終了を目標として、できるところまで進めます。

また、大阪会場では、この4工程を3日間で終了できるよう進めていきます。

ワークショップ当日の持ち物

レイアウトパット、キッチンペーパー1ロール、カッターナイフ、カラダッシュ (CARAN d'ACHE)社の水彩用色鉛筆の白を2本 (カラダッシュ社のものが手に入らない場合は日本製の水彩用鉛筆でも構いません)、HBの鉛筆1本、定規、三角定規、エアパッキンまたはプチプチの包装用ビニール (石を保護するため) 100 × 100 cm を2枚、セロテープ、砥石 (スチール製可)、シャコ万力×2 最大口開きが100 mm (またはB型クランプ <http://www.monotaro.com/c/027/117/>)、白の色鉛筆をとがらせるための紙ヤスリ (耐水サンドペーパー180番)、鑿 (チズル)、ダミー、使い古しの歯ブラシ 幅が3 cm 以上のマスキングテープ、プラスチックゴーグル (目の保護のため)

* デザインした文字を石に写していない方は、白または黄色のチャコペーパー

* 砥石をお持ちの方はお手数ですが、ご持参ください。

* これまで作成した石の作品

写真でも可ですが、実物をご持参いただくと参加者全員がより深く学べます。

* イーゼルをお持ちの方はご持参ください。

➤ 持ち物に関するお問い合わせは、workshop@j-laf.org にメールをお送りください。